日本医学脱毛学会
2006年度学術大会

プログラム
抄録集

2006年2月19日（日）

新宿文化クイントビル 14階

ごあいさつ

日本医学脱毛学会 2006 年度学術大会
大会長　鈴木　弓

2006 年度の日本医学脱毛学会学術大会も、皆様のご協力により開催できます事を感謝致します。

昨年は、学会発足の原動力となった、絶縁針による脱毛の認定脱毛士の他に、レーザー脱毛士の資格制度を設け、２回のレーザー脱毛士資格テストを実施致しました。今後も年１回は、テストを実施する予定です。レーザー脱毛は、針脱毛に比べ、技術的には簡単ですが、照射条件が不適切ですと、効果が出なかったり、強過ぎて熱傷を起こしてしまうこともあります。又、次々と新しい機械が売り出され、１台目はどれが良いか、２台目はどれを買うと便利か等、勉強しなければならない事が、次々と出てきます。レーザー脱毛士の資格を取得しても、その後の研修を怠らないで下さい。

脱毛術はオシャレだけでなく、医療として必要としている患者さんもいらっしゃいます。毛が再生しない為には、毛根を破壊する必要があり、毛根は真皮深層に位置するのですから、これを破壊する行為は医療であります。又、思わぬ反応を起こす人も居て、これを治療出来る体制が必要です。従って永久脱毛、不再生脱毛と呼ばれる行為は、医療機関で行うべきものです。

昨年は、東京都生活安全課が非医療機関に対し、レーザー脱毛の市道要項を出した事に対し、学会として、形成外科及び美容医療協会連名で抗議を申し入れました。

当学術大会で、研鑽を積んで、脱毛は医療であると言い続けたいと思います。

参加御案内

1．開催日時：平成18年2月19日10：00～16：00
　場所：ファイザー株式会社　本社ビル14階
2．参加ご希望の方は、1月31日までにFAX・メールで大会事務局（弓皮ふ科医院）までお申し込み下さい。
3．受付は当日でも可能です。2月19日AM.10：00より会場にて行います。
4．参加費

前 登 録	医師）	8,000円	※2月7日迄に下記口座へお振込み下さい。
	看護師）	3,000円	
当日登録	医師）	10,000円	
	看護師）	5,000円	
非 会 員		15,000円	

振込先：高崎信用金庫西支店　普通口座：
　　日本医学脱毛学会2006年度学術大会　大会長　鈴木　弓
5．参加申込先：日本医学脱毛学会 弓皮ふ科医院　鈴木　弓
　〒370-0862　群馬県高崎市片岡町1-5-3
　Tel：027-322-2013　Fax：027-322-2014
　E-mail：　yumi@mail.gunma.med.or.jp

発表者及び、質問者への御案内

1．発表時間は、質問・討論を含めて10分間です。
2．Microsoft PowerPointの利用、パソコン、スライドの使用可能です。
3．質問、討論をされる方は、マイクの前で待機し、座長の指示に従って所属・氏名を告げてから、要点を簡潔にお願い致します。

関連次項の御案内

1．機械展示（賛助会員）10：00～15：00
　カキヌマメディカル（株）
　キャンデラ（株）
　キュテラ（株）
　ジェイメック（株）
　日本ルミナス（株）
　メトラス（株）　　（アイウエオ順）

プログラム

○10：30～11：00　レーザー脱毛士試験

○11：00～11：10　開会のあいさつ　鈴木 弓

○11：10～11：40　一般演題　座長　水谷 智子

1）「毛巣洞の術後に脱毛術が有効であった症例」
弓皮ふ科医院　下川 加奈恵　鈴木　弓

2）「アレキサンドライトレーザーとダイオードレーザーの脱毛効果」
知立南皮フ科　今西 喜代美

3）「私の現在行っている脱毛法」
慶友クリニック　高山 正三

4）「眉毛のレーザー脱毛による眼球障害の報告」
東京女子医科大学附属青山女性医療研究所・美容医療科
大木 理香　若松 信吾

○11：40～12：40　レーザー講習会　座長　浜口 雅光

1）「レーザーの基本及び危険について」
札幌スキンケアクリニック　松本 敏明

2）「脱毛レーザーの理論的背景と各種レーザーの比較」
葛西形成外科　葛西 健一郎

○12：40～14：00　総会及び昼食

○14：00～14：30　一般演題　座長　石川 修一

1）「脱毛後発赤と瘙痒の来たした症例について」
ちば美容・形成外科クリニック　野田　宏子

2）「脱毛後のアレルギー反応と思われる症状に関するアンケート調査結果」
弓皮ふ科医院　鈴木 弓

○14：30～15：30　特別公演　座長　亀井 康二
「アレルギーのはなし」
順天堂大学医学部免疫学講座　奥村　康

○16：00　閉会のあいさつ　若松 信吾

1）毛巣洞の術後に脱毛術が有効であった症例

弓皮ふ科医院　下川 加奈恵・鈴木 弓

整形外科にて、仙骨部の毛巣洞の手術を受けたが、肛囲の小病巣が難治であった。抗生剤内服を続けても、湿潤した病巣が続いていた。当院へ脱毛術をするよう依頼があったので、手術創周辺及び、肛囲の脱毛を施術したところ、良好な経過を来たしたので報告する。

＜メモ欄＞

2）アレキサンドライトレーザーとダイオードレーザーの脱毛効果

知立南皮フ科・内科　今西 喜代美

当院では、アレキサンドライトレーザーは平成10年10月より使用している。平成17年12月20日現在2321人の人に対して、様々な部位において良好な脱毛効果が確認された。平成17年の3月よりダイオードレーザーによる脱毛を開始した。ダイオードレーザーの症例数はまだ少ないが、アレキサンドライトレーザーとダイオードレーザーによる脱毛効果を比較検討した。その結果、硬毛・軟毛に対しての脱毛効果に違いがあり、いろいろ疑問点が出てきた。これを報告します。

＜メモ欄＞

3）私の現在行っている脱毛法

慶友クリニック　高山正三

現在私のクリニックでは、3 機種の脱毛機 《①ロングパルスアレキサンドライトレーザー、②半導体レーザー、③オーロラ[IPL+RF（高周波）]》を用いて脱毛を行っている。一般的な方法として、比較的剛毛が多い部分（足、腋窩）には、大体 1～4 回までは、ロングパルスアレキサンドライトレーザーのみによる治療を行い、その後、半導体レーザによる治療を行うのをスタンダードな方法としている。この方法で約 90%以上の脱毛効果が得られているが、この効果には個人差が大きい事もあり、10 回以上の治療を必要とするケースには半導体レーザーとオーロラを同時に使って治療を行い、好結果を得ている。症例とともに今後の問題点を述べたい。

＜メモ欄＞

4）眉毛のレーザー脱毛による眼球障害の報告

東京女子医科大学附属青山女性医療研究所・美容医療科
大木 理香　若松 信吾

某美容外科クリニックにて眉毛の永久脱毛を目的とし医療レーザー脱毛を受けた患者が、レーザー照射後より両眼の曖明感が続くため近医眼科を受診。診察した眼科医によると、レーザー光による虹彩炎を生じており、縮瞳障害が認められるとの診断であった。その後、加療を行うも瞳孔の動きは依然として鈍いままであり、縮瞳障害による差明感および易疲労感が残存するとの事で、現在も経過観察中である。当方は上記眼科医より医療レーザー脱毛の詳細について質問および意見を求められ、本件についての報告を受けた次第である。
眉毛は眼球に近い部位であるためレーザー照射には最新の注意を要する。また繊細なデザイン作りを要求されるという問題もあるため、トラブルやクレームを生じやすい部位であると思われる。本件の報告を機に、レーザー脱毛の危険性について再確認を促すとともに、眼球保護の方法や照射範囲について討論をできればと考える。

＜メモ欄＞

1）レーザーの基本及び危険性について

札幌スキンケアクリニック　松本 敏明

レーザーについての基本的な知識及びレーザー脱毛を行う際に注意しなければならない事について述べます。

＜メモ欄＞

2）脱毛レーザーの理論的背景と各種レーザーの比較

葛西形成外科　葛西 健一郎

レーザー脱毛で、生えなくなる毛があるということは、その毛包は永久的に機能が破壊されたということである。一方、また生えてきた毛は、うまく破壊されなかったということである。これは、すなわち、毛の状態と、レーザーのパラメーターが、うまく合わなかったということを意味する。毛の状態（太さ・毛根の長さ・皮毛角・毛周期）と、適合するレーザーのパラメーター（波長・パルス幅・フルエンス・スポット径）の関係につき、説明する。同時に、副作用（痛み・色素沈着・色素脱出など）と、パラメーターの問題も解説する。
アレキサンドライトレーザーや、ダイオードレーザーを使用してクリニックにおいては、治療の幅を広げる意味で、ロングパルス Nd:YAG レーザー（Gentle YAG）を導入する意義が大きいが、これまでのレーザーの方が良い面も多い。

＜メモ欄＞

1）脱毛後発赤と掻痒の来たした症例について
（針脱毛後及び、レーザー脱毛後）

ちば美容・形成外科クリニック　野田　宏子

脱毛施術後、数時間から数日の発赤があることはよくみられるが、施術後、発赤が消退したにもかかわらず、１週間から１ヶ月近く置いて掻痒を伴い発赤を来すことがある。壊死した系の残存物に対してのアレルギー反応と思われる。その例と瘡痒があり数ヶ月して発赤隆起を来した例がある。それらの症例報告を行う。

＜メモ欄＞

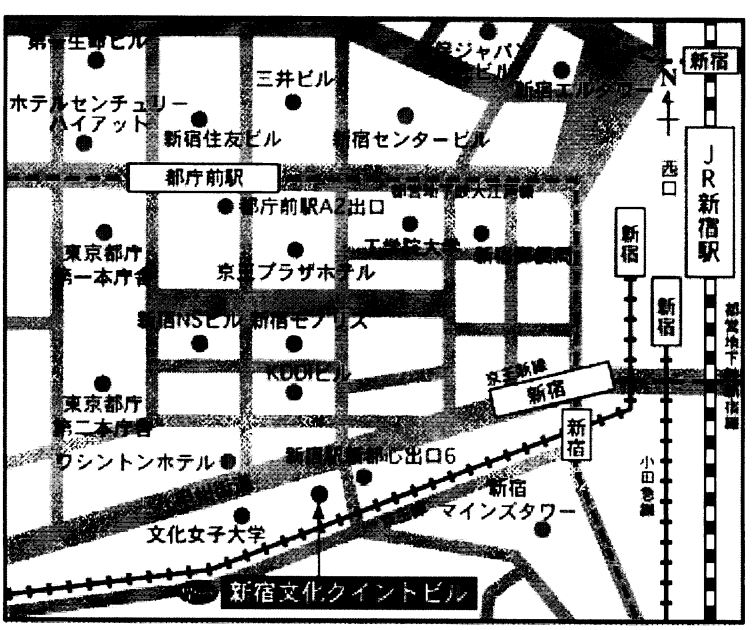
2）脱毛後のアレルギー反応と思われる症状に関するアンケート調査結果

弓皮ふ科医院　鈴木 弓

脱毛術後、針脱毛でもレーザー脱毛でも、一時的な紅斑反応でなく、一時的な紅斑反応がむしろ消退してから、毛孔一致性の掻痒性丘疹が１ヶ月以上続く症例が散見される。これは毛組織の壊死物質に対するアレルギー反応ではないかと考えられているが、実際、どの位の頻度で起こるのか、どのような症状を指すのかはっきりしていない。アンケート調査をしたところ、各医院によって、把握されている内容に差があった。一応まとめて報告すると同時に、これらの反応がアレルギー反応と言えるのか検討した。

＜メモ欄＞

◎交通のご案内◎



□新宿文化クイントビル　１４Ｆ会議室

日本医学脱毛学会
2006年度学術大会

プログラム
抄録集

2006年2月19日（日）

新宿文化クイントビル 14階

ごあいさつ

日本医学脱毛学会 2006 年度学術大会
大会長　鈴木　弓

2006 年度の日本医学脱毛学会学術大会も、皆様のご協力により開催できます事を感謝致します。

昨年は、学会発足の原動力となった、絶縁針による脱毛の認定脱毛士の他に、レーザー脱毛士の資格制度を設け、２回のレーザー脱毛士資格テストを実施致しました。今後も年１回は、テストを実施する予定です。レーザー脱毛は、針脱毛に比べ、技術的には簡単ですが、照射条件が不適切ですと、効果が出なかったり、強過ぎて熱傷を起こしてしまうこともあります。又、次々と新しい機械が売り出され、１台目はどれが良いか、２台目はどれを買うと便利か等、勉強しなければならない事が、次々と出てきます。レーザー脱毛士の資格を取得しても、その後の研修を怠らないで下さい。

脱毛術はオシャレだけでなく、医療として必要としている患者さんもいらっしゃいます。毛が再生しない為には、毛根を破壊する必要があり、毛根は真皮深層に位置するのですから、これを破壊する行為は医療であります。又、思わぬ反応を起こす人も居て、これを治療出来る体制が必要です。従って永久脱毛、不再生脱毛と呼ばれる行為は、医療機関で行うべきものです。

昨年は、東京都生活安全課が非医療機関に対し、レーザー脱毛の市道要項を出した事に対し、学会として、形成外科及び美容医療協会連名で抗議を申し入れました。

当学術大会で、研鑽を積んで、脱毛は医療であると言い続けたいと思います。

参加御案内

1．開催日時：平成18年2月19日10：00～16：00
　場所：ファイザー株式会社　本社ビル14階
2．参加ご希望の方は、1月31日までにFAX・メールで大会事務局（弓皮ふ科医院）までお申し込み下さい。
3．受付は当日でも可能です。2月19日AM.10：00より会場にて行います。
4．参加費

前登録	医師）	8,000円	※2月7日迄に下記口座へお振込み下さい。
	看護師）	3,000円	
当日登録	医師）	10,000円	
	看護師）	5,000円	
非会員		15,000円	

　振込先：高崎信用金庫西支店　普通口座：
　　日本医学脱毛学会2006年度学術大会　大会長　鈴木　弓
5．参加申込先：日本医学脱毛学会 弓皮ふ科医院　鈴木　弓
　〒370-0862　群馬県高崎市片岡町1-5-3
　Tel：027-322-2013　Fax：027-322-2014
　E-mail：　yumi@mail.gunma.med.or.jp

発表者及び、質問者への御案内

1．発表時間は、質問・討論を含めて10分間です。
2．Microsoft PowerPointの利用、パソコン、スライドの使用可能です。
3．質問、討論をされる方は、マイクの前で待機し、座長の指示に従って所属・氏名を告げてから、要点を簡潔にお願い致します。

関連次項の御案内

1．機械展示（賛助会員）10：00～15：00
　カキヌマメディカル（株）
　キャンデラ（株）
　キュテラ（株）
　ジェイメック（株）
　日本ルミナス（株）
　メトラス（株）　　（アイウエオ順）

プログラム

○10：30～11：00　レーザー脱毛士試験

○11：00～11：10　開会のあいさつ　鈴木 弓

○11：10～11：40　一般演題　座長　水谷 智子

1）「毛巣洞の術後に脱毛術が有効であった症例」
弓皮ふ科医院　下川 加奈恵　鈴木　弓

2）「アレキサンドライトレーザーとダイオードレーザーの脱毛効果」
知立南皮フ科　今西 喜代美

3）「私の現在行っている脱毛法」
慶友クリニック　高山 正三

4）「眉毛のレーザー脱毛による眼球障害の報告」
東京女子医科大学附属青山女性医療研究所・美容医療科
大木 理香　若松 信吾

○11：40～12：40　レーザー講習会　座長　浜口 雅光

1）「レーザーの基本及び危険について」
札幌スキンケアクリニック　松本 敏明

2）「脱毛レーザーの理論的背景と各種レーザーの比較」
葛西形成外科　葛西 健一郎

○12：40～14：00　総会及び昼食

○14：00～14：30　一般演題　座長　石川 修一

1）「脱毛後発赤と瘡痒の来たした症例について」
ちば美容・形成外科クリニック　野田　宏子

2）「脱毛後のアレルギー反応と思われる症状に関するアンケート調査結果」
弓皮ふ科医院　鈴木 弓

○14：30～15：30　特別公演　座長　亀井 康二
「アレルギーのはなし」
順天堂大学医学部免疫学講座　奥村　康

○16：00　閉会のあいさつ　若松 信吾

1）毛巣洞の術後に脱毛術が有効であった症例

弓皮ふ科医院　下川 加奈恵・鈴木 弓

整形外科にて、仙骨部の毛巣洞の手術を受けたが、肛囲の小病巣が難治であった。抗生剤内服を続けても、湿潤した病巣が続いていた。当院へ脱毛術をするよう依頼があったので、手術創周辺及び、肛囲の脱毛を施術したところ、良好な経過を来たしたので報告する。

＜メモ欄＞

2）アレキサンドライトレーザーとダイオードレーザーの脱毛効果

知立南皮フ科・内科　今西 喜代美

当院では、アレキサンドライトレーザーは平成 10 年 10 月より使用している。平成 17 年 12 月 20 日現在 2321 人の人に対して、様々な部位において良好な脱毛効果が確認された。平成 17 年の 3 月よりダイオードレーザーによる脱毛を開始した。ダイオードレーザーの症例数はまだ少ないが、アレキサンドライトレーザーとダイオードレーザーによる脱毛効果を比較検討した。その結果、硬毛・軟毛に対しての脱毛効果に違いがあり、いろいろ疑問点が出てきた。これを報告します。

＜メモ欄＞

3）私の現在行っている脱毛法

慶友クリニック　高山正三

現在私のクリニックでは、3 機種の脱毛機 《①ロングパルスアレキサンドライトレーザー、②半導体レーザー、③オーロラ[IPL+RF（高周波）]》を用いて脱毛を行っている。一般的な方法として、比較的剛毛が多い部分（足、腋窩）には、大体 1～4 回までは、ロングパルスアレキサンドライトレーザーのみによる治療を行い、その後、半導体レーザによる治療を行うのをスタンダードな方法としている。この方法で約 90%以上の脱毛効果が得られているが、この効果には個人差が大きい事もあり、10 回以上の治療を必要とするケースには半導体レーザーとオーロラを同時に使って治療を行い、好結果を得ている。症例とともに今後の問題点を述べたい。

＜メモ欄＞

4）眉毛のレーザー脱毛による眼球障害の報告

東京女子医科大学附属青山女性医療研究所・美容医療科
大木 理香　若松 信吾

某美容外科クリニックにて眉毛の永久脱毛を目的とし医療レーザー脱毛を受けた患者が、レーザー照射後より両眼の曖明感が続くため近医眼科を受診。診察した眼科医によると、レーザー光による虹彩炎を生じており、縮瞳障害が認められるとの診断であった。その後、加療を行うも瞳孔の動きは依然として鈍いままであり、縮瞳障害による差明感および易疲労感が残存するとの事で、現在も経過観察中である。当方は上記眼科医より医療レーザー脱毛の詳細について質問および意見を求められ、本件についての報告を受けた次第である。
眉毛は眼球に近い部位であるためレーザー照射には最新の注意を要する。また繊細なデザイン作りを要求されるという問題もあるため、トラブルやクレームを生じやすい部位であると思われる。本件の報告を機に、レーザー脱毛の危険性について再確認を促すとともに、眼球保護の方法や照射範囲について討論をできればと考える。

＜メモ欄＞

1）レーザーの基本及び危険性について

札幌スキンケアクリニック　松本 敏明

レーザーについての基本的な知識及びレーザー脱毛を行う際に注意しなければならない事について述べます。

＜メモ欄＞

2）脱毛レーザーの理論的背景と各種レーザーの比較

葛西形成外科　葛西 健一郎

レーザー脱毛で、生えなくなる毛があるということは、その毛包は永久的に機能が破壊されたということである。一方、また生えてきた毛は、うまく破壊されなかったということである。これは、すなわち、毛の状態と、レーザーのパラメーターが、うまく合わなかったということを意味する。毛の状態（太さ・毛根の長さ・皮毛角・毛周期）と、適合するレーザーのパラメーター（波長・パルス幅・フルエンス・スポット径）の関係につき、説明する。同時に、副作用（痛み・色素沈着・色素脱出など）と、パラメーターの問題も解説する。
アレキサンドライトレーザーや、ダイオードレーザーを使用してクリニックにおいては、治療の幅を広げる意味で、ロングパルス Nd:YAG レーザー（Gentle YAG）を導入する意義が大きいが、これまでのレーザーの方が良い面も多い。

＜メモ欄＞

1）脱毛後発赤と掻痒の来たした症例について
（針脱毛後及び、レーザー脱毛後）

ちば美容・形成外科クリニック　野田　宏子

脱毛施術後、数時間から数日の発赤があることはよくみられるが、施術後、発赤が消退したにもかかわらず、１週間から１ヶ月近く置いて掻痒を伴い発赤を来すことがある。壊死した系の残存物に対してのアレルギー反応と思われる。その例と瘡痒があり数ヶ月して発赤隆起を来した例がある。それらの症例報告を行う。

＜メモ欄＞

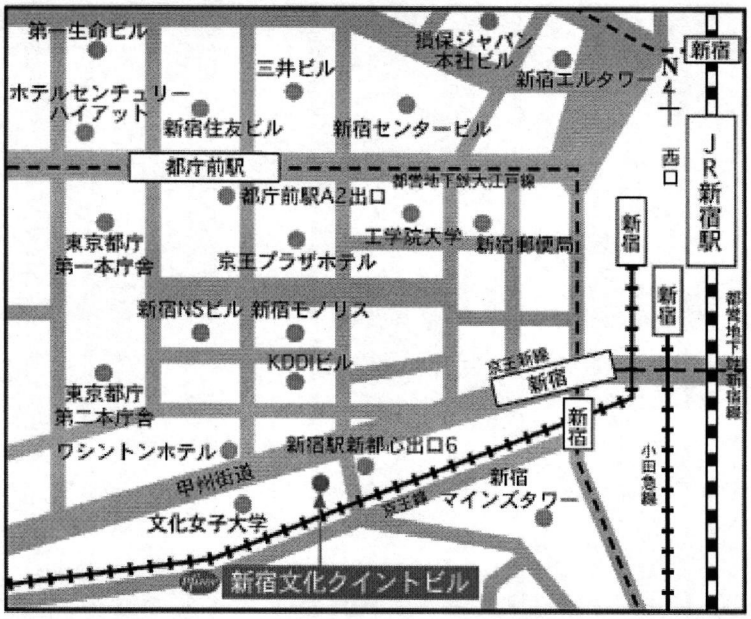
2）脱毛後のアレルギー反応と思われる症状に関するアンケート調査結果

弓皮ふ科医院　鈴木 弓

脱毛術後、針脱毛でもレーザー脱毛でも、一時的な紅斑反応でなく、一時的な紅斑反応がむしろ消退してから、毛孔一致性の掻痒性丘疹が１ヶ月以上続く症例が散見される。これは毛組織の壊死物質に対するアレルギー反応ではないかと考えられているが、実際、どの位の頻度で起こるのか、どのような症状を指すのかはっきりしていない。アンケート調査をしたところ、各医院によって、把握されている内容に差があった。一応まとめて報告すると同時に、これらの反応がアレルギー反応と言えるのか検討した。

＜メモ欄＞

◎交通のご案内◎



□新宿文化クイントビル　１４Ｆ会議室